

★★ 神奈川県「在県外国人等特別募集」実施高校で、2022年度の教育課程で
1年次に学校設定科目として日本語等を設置している高校について ★★

(作成：ME-net 高橋清樹)

1) 2022年度の「在県外国人等特別募集」実施高校

全日制16校（県立14校、横浜市立2校）、**定時制2校**（県立の昼間多部制定時制2校）

志願資格：滞日年数通算**6年以内**（小学校入学前を除く）

外国籍を有する（日本国籍との重国籍可）または日本国籍を取得して6年以内

2) 1年次に学校設定科目として日本語等を設置している高校

2022年度は18校のうち、**11校**で学校設定科目を設置している

ケース1 日本語指導が必要な生徒は、他の生徒が1年次に履修する**必履修科目を2年次以降に履修することで**、1年次に日本語を履修している。

高校名（課程等）	科目名（単位数）	2年次以降に履修する科目名
相模原弥栄高校（全日制・単位制普通科）	日本語 A（2）	言語と文化
新栄高校（全日制・学年制普通科）	日本語 A（2）	家庭総合の2単位
鶴見総合高校（全日制・総合学科）	日本語（2）	情報 I（2）
藤沢総合高校（全日制・総合学科）	日本語初級（4）	情報 I（2）、数学 A（2）

※藤沢総合高校の「数学 A（2）」は選択科目

ケース2 全生徒を対象とした教育課程で、いくつかの**必履修科目を2年以降に設定し、1年次の必履修科目でない選択科目の中に日本語を組み込んで**いる高校

高校名（課程等）	科目名（単位数）	他の生徒が履修する科目名
伊勢原高校（全日制・学年制普通科）	日本語 A（2）	英語の選択科目
愛川高校（全日制・学年制普通科）	日本語基礎（3）	基礎学習科目「iunit」
みなと総合高校（全日制・総合学科）	日本語 I（2）	一般選択科目
横浜清陵高校（全日制・単位制普通科）	日本語 A（2）	数学 A（2）
相模向陽館高校（昼間定時制・午前部・午後部・単位制普通科）	日本語 A（2）	基礎学習科目「ステップ」
横浜明朋高校（昼間定時制・午前部・午後部・単位制普通科）	日本語 A（2）	部間併修の自由選択科目「国語入門」

参考)

愛川高校→必履修科目の「家庭総合」、「地理総合」、「生物基礎」「公共」を2年次に設置

ケース 3 日本語の授業を、他の生徒は授業がない時間帯（放課後のコマ）に設置している高校
大師高校（単位制普通科）「日本語」（2単位）
一般生徒が履修していない時間帯（6限目）に日本語を設置

3) 「学校案内」の教育課程編成表に日本語の科目の選択を明示している高校

・愛川高校（学年制普通科）↓学校案内

https://www.pen-kanagawa.ed.jp/aikawa-h/nyugaku/documents/pamphlet2023_8mb.pdf

・横浜清陵高校（単位制普通科）↓学校案内

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/y-seiryo-h/nyugaku/documents/gakkouannai.pdf>

・相模向陽館高校（昼間定時制・午前部、午後部 単位制普通科）↓ 学校案内

https://www.pen-kanagawa.ed.jp/sagamikoyokan-h/nyugaku/documents/gakkou_navigation2021.pdf

参考資料

ME-net「ガイダンス特設ページ」の「高校情報」に、高校ごとの「(在県向け)説明資料」

<https://hsguide.me-net.or.jp/>

があります。その中で、「日本語を習得するための授業を設定している」に記載されています。

※なお、1年次に学校設定科目の「日本語」を設定していない7校のうち、

国語科目（現代の国語、言語文化）の取り出し授業の中で日本語教育を取り入れた国語を実施している高校→座間総合高校、県立川崎高校、大和南高校、橋本高校、横浜商業高校（5校）

他の2校（高浜高校、横浜旭陵高校）は、1年次に日本語の授業を実施していません。

★なお、2年次以降に学校設定科目として日本語の授業を設置している「在県外国人等特別枠募集校」は2022年度において18校中、15校でした。